

研究名：当院救急外来を受診した小児アナフィラキシー入院症例の検討

1. 研究の目的

近年、旅行者が増加し、かかりつけ医から離れた旅行先でのアナフィラキシー症例が時折認められます。当院は群馬県北部の小児救急医療において中心的な役割を担っており、通院患者のみならず温泉や観光地が多い群馬県内の旅行者などのアナフィラキシー症例を多く経験しています。当院でのアナフィラキシー症例の診療で得られた医療情報を解析し、今後の医療体制の充実や患者教育に生かしていきます。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：過去約 10 年間に、アナフィラキシーの診断で当院救急外来から入院した方。
- ② 研究期間：2012 年 1 月から 2022 年 5 月
- ③ 研究方法：当院の電子カルテのデータから、対象となる患者様をリストアップします。各患者様の入院中・退院後のカルテを確認し、症状の程度や原因食物、治療内容などを確認します。

3. 研究に用いる資料・情報の種類

電子カルテに保存されている、病歴や臨床症状に関する記載、退院後の症状に関する記載。

4. 個人情報保護について

カルテの個人情報はすべて匿名化した上で解析するため、個人情報が特定されることはありません。

5. 資料・情報の公表

本研究が終了後に、学会発表および科学論文上に発表する予定です。

解析は個人情報が特定できない方法で行うため、結果の発表に関しても個人情報が特定されることはありません。

6. 研究実施機関

群馬県立小児医療センター

